

西宮だより

発行 杉並区立西宮中学校
令和6(2024)年度2月号
<http://www.suginami-school.ed.jp/nishimiyachu/>

《教育目標》
◇心豊かな人
◇自ら学ぶ人
◇健康な人
『自主自律』の精神

令和6年度 教育調査の結果について

副校長 大金 泰光

令和6年度の教育調査にご協力いただき、ありがとうございました。集計結果とその分析についてご報告いたします。昨年度に引き続き、生徒への教育調査を除き、保護者の皆様及び学校運営協議会委員の皆様へは済美教育センターから直接ご質問をさせていただきました。

調査の結果は肯定率の数値を用いています。肯定率とは回答の「とてもそう思う」と「ややそう思う」を合わせた割合で、**青字**は前年度の肯定率を上回ったものを表しています。回答の中で肯定率が低いものもありますが、その原因の多くは否定的な回答が多いからではなく、「どちらともいえない」や「回答できない」と回答した割合が高いことにあります。

1 生徒対象の教育調査の結果

教育調査（生徒対象）の結果（肯定率） ***青字**は前年度の肯定率を上回ったもの 回答率：87.4%(R4) 90.0%(R5) 91.3%(R6)

	質問内容	本校肯定率の推移		
		R4	R5	R6
1	先生は、クラスのみんなが分かり合い、協力し合えるようにしてくれている。	85.6%	86.2%	84.6%
2	授業では、学習を進める方法やペースを、自分で決めながら学んでいる。	55.7%	55.6%	61.1%
3	授業では、自分の得意なところを伸ばしたり、苦手なところを少なくしたりできるように、個別に教えてくれている。	43.0%	41.2%	53.3%
4	授業では、自分の興味に基づいて問い合わせや課題を立てて学んでいる。	49.8%	53.4%	57.1%
5	授業では、自分が必要な時に、必要な仲間と協力しながら学んでいる。	78.4%	81.7%	84.6%
6	学校の授業によって、分かることやできることが増えている。	85.6%	80.7%	84.6%
7	先生は、授業で自分ができたことを誉めてくれたり、間違えたところを教えてくれたりしている。	73.1%	74.6%	79.6%
8	先生は、授業において電子黒板やデジタル教科書を活用している。	91.1%	93.6%	94.7%
9	先生は、今の授業で学習していることが、前の授業や今後の授業とどのようにつながっているか、教えてくれている。	80.3%	76.2%	79.9%
10	道徳の時間では、友達や家族、地域の人たち共によりよく生きることの大切さについて、みんなで話し合っている。	78.0%	77.5%	82.4%
11	先生は、健康な生活を送るために必要なことを教えてくれている。	73.4%	74.9%	80.9%
12	学校や家などで、1か月に本、新聞、雑誌、調べ物をするための資料などを読んだ。	80.7%	84.9%	81.8%
13	地域の行事に参加している。	23.9%	24.4%	33.2%
14	先生は、地域の人たちと協力しながら、授業や学校行事をよりよくしてくれている。	42.6%	46.9%	56.1%
15	先生は、整理・整頓や清掃について、話をしたり考え（活動）させたりしている。	58.4%	61.4%	72.1%
16	先生は、体験的な活動や調べてみる学習に進んで取り組めるように指導をしてくれている。	70.3%	67.2%	73.4%
17	先生は、あいさつの励行やきまりを身に付け、学校生活が向上するよう指導をしてくれている。	78.2%	83.0%	88.7%
18	先生は、学級活動や生徒会活動・学校行事に進んで取り組めるように指導をしてくれている。	80.2%	76.8%	83.7%
19	先生は、将来の進路や生き方・働くことの意味について、先生や友達と相談したり、考えたりすることができるよう指導をしてくれている。	73.3%	70.4%	73.4%
20	先生は、いじめや仲間はずれなどが多く、相手の立場を考え、互いに協力し合える関係がつくれるように指導してくれている。	79.2%	76.5%	80.6%
21	先生は、相談にのってくれたり、意見を尊重したり、励ましたりしてくれている。	68.3%	75.6%	78.7%
22	先生は、学校生活が充実し、楽しめるように指導してくれている。	78.2%	78.5%	81.2%
23	友達や先生に対して、気持ちの良いあいさつができる。	80.2%	78.8%	80.3%
24	学級・学年活動や生徒会活動・部活動を通して、自分の役割を果たし、自己の有用感や成就感を味わっている。	73.3%	71.1%	73.4%
25	I C Tを活用した授業では、発言・発表の機会を増やし、生徒が互いに学び合う活動を多く取り入れてくれている。	84.2%	71.7%	76.2%
26	小中連携における小学生と中学生の交流や、上級学校訪問などを通しての進路学習を進めることは、とても意義のあることである。	69.3%	57.6%	64.9%
27	中学生レスキュー隊や地域の祭礼・行事等でのボランティア活動へ積極的に参加している。	37.6%	28.9%	32.0%
28	先生方は、生徒の呼び方や生徒への声掛けの際の言葉遣いに、十分気を配っている。	79.2%	73.3%	76.8%

2 保護者対象の教育調査の結果

教育調査（保護者対象）の結果（肯定率） *青字は前年度の肯定率を上回ったもの 本校の回答率：49.0% (R5) 48.3% (R6)

	質問内容	本校肯定率の推移		区全体
		R 5	R 6	
1	子どもは、授業で学ぶことにより、毎日の生活を、自分でよりよくするためにできることが増えている。	60.9%	65.1%	57.2%
2	子どもは、学校でみんなと一緒に過ごすことによって、社会を、自分たちで変えるための知識や考え方方が身に付いている。	70.4%	73.8%	65.9%
3	子どもは、学校で障害者、外国人、性的マイノリティ等の人権に関する多様な価値観について学んでいる。	53.8%	48.8%	48.0%
4	学校は、子どもが自分の興味や関心に基づいて学んだり探究したりできるよう、家庭、地域、民間の団体や企業等と連携している。	46.7%	48.3%	47.3%
5	連携する小・中学校による小中一貫教育（小・中学校の教員による協働授業、児童・生徒の交流など地域活動への参加等）が進められている。	45.0%	52.3%	43.2%
6	子どもは、児童・生徒1人1台専用のタブレット端末や学習eポータル、様々なデジタルコンテンツを、自分の学びや生活の必要に応じて選択して活用している。	66.3%	70.3%	66.3%
7	学校の教室や校舎、敷地内には、子どもたち自らが、学びや生活の必要に応じて選択的に活用できる多様な場を設けたり、様々な道具を備えたりする工夫がなされている。	30.2%	29.7%	33.0%
8	学校は、いじめを絶対に許さないという雰囲気がある。	53.3%	54.7%	40.9%
9	学校は、子どもの日常の学びの状況や評価方法について、参観、面談、HP、お便り等により充分提供している。	75.1%	77.9%	64.0%
10	学校は、欠席等連絡、お便りの配布、アンケートの実施のオンライン化が進められている。	89.3%	89.0%	85.9%
11	学校では、教職員、他の保護者、地域の方等とかかわり、子どもの成長や学校生活について考えたり話したりすることができている。	53.8%	58.1%	43.8%
12	子どもが人間関係や自分自身の心の問題で悩んだとき、学校は、その解決を、きめ細かに支援してくれている。	36.1%	47.7%	37.4%
13	学校は、通常の学級や特別支援学校、特別支援学級の子どもが相互に交流したり、一緒に活動したりする機会をつくっている。	17.8%	12.8%	25.4%
14	子どもは、学校生活を楽しんでいる。	75.1%	79.7%	70.1%

3 学校運営協議会委員対象の教育調査の結果

教育調査（学校運営協議会委員対象）の結果（肯定率） *青字は前年度の肯定率を上回ったもの 回答率：90.0% (R4) 100% (R5) 90.0% (R6)

	質問内容	本校肯定率の推移			区全体
		R 4	R 5	R 6	
1	子どもたちは、学ぶ楽しさを実感しながら、問い合わせや課題を自分なりに立て、自分なりの方法で解決したり探究したりする力が育っている。	100.0%	90.0%	100.0%	83.3%
2	子どもたちは、違いを認め合って共に生きる大切さを実感しながら、それぞれの得意を生かしたり、苦手を補い合ったりする力が育っている。	88.9%	80.0%	77.8%	81.7%
3	教員は、全ての子どもが共に学ぶ中で自分らしく成長できるよう、それぞれの経験や専門性を生かし合っている。	88.9%	90.0%	88.9%	74.2%
4	学校は、全ての子どもが自分の興味や関心に基づいて学んだり探究したりできるよう、家庭や地域、民間の団体や企業等と連携している。	100.0%	80.0%	88.9%	78.3%
5	児童・生徒1人1台専用のタブレット端末や学習eポータル、様々なデジタルコンテンツは、子どもたちによって、その時々の学びや生活の必要に応じ、選択的に活用されている。	88.9%	90.0%	100.0%	75.8%
6	学校の教室や校舎、敷地内には、子どもたち自らが、学びや生活の必要に応じて選択的に活用できる多様な場を設けたり、様々な道具を備えたりする工夫がなされている。	77.8%	50.0%	55.6%	53.3%
7	学校では、校長を中心に、教育目標や目標達成の基本方針、指導の重点について家庭・地域と協議し、子どもたちの思いや願いを尊重する教育課程を編成している。	100.0%	100.0%	100.0%	87.5%
8	学校では、授業や行事、学校生活の内容や進め方について、子どもたちが、学びや生活の主体であることを実感しながら、自分たちで考えたり教職員（学校関係者を含む）と話し合ったりしている。	100.0%	90.0%	100.0%	83.3%

4 結果の分析

（1）生徒対象

- 今年度の生徒の肯定率について、質問項目28個のうち26項目で昨年度の数値を上回りました。肯定率が50%未満の項目は、「【質問13】の地域行事、【質問27】のボランティア活動」でした。なお、生徒対象の教育調査は他の教育調査とは異なり、済美教育センターが実施するものではなく本校独自の調査のため、区全体の肯定率は出ておりません。
- 「【質問13】地域行事」及び「【質問27】ボランティア活動」については本校の有志生徒やボランティア部、生徒会本部役員等による「ホタル祭りクリーンボランティア」への参加や「高井戸第二小学校の運動会支援」、「ふれあい運動会支援」等の活動が実施できました。特に「ホタル祭りクリーンボランティア」には例年の倍近い84名の生徒が早朝の清掃活動に参加しました。また、杉並区中学生レスキュー隊の活動では、合同訓練や東京消防庁の防災施設での見学及び防災体験、西宮中学校震災救援所の役員の皆様の指導を受けての年3回の訓練等を実施しています。今後はさらに多くの生徒がこのような活動に参加できるよう工夫してまいります。

(2) 保護者対象

- 本校の肯定率は、ほとんどの質問項目で区全体の平均を上回っています。区の平均を下回った項目は「【質問7】多様な場や道具の選択」と「【質問13】特別支援学校・学級との交流」だけでした。また、質問項目14個のうち10項目で昨年度の数値を上回りました。肯定率が50%未満の項目は、「【質問3】人権に関する多様な価値観、【質問4】企業等と連携した学び、【質問7】多様な場や道具の選択、【質問12】きめ細やかな支援、【質問13】特別支援学校・学級との交流」でした。
- 「【質問3】人権に関する多様な価値観」については、普段の授業では道徳や各教科及び特別活動等において理解を深めているところです。また、第3学年では6月に震災救援所運営連絡会の皆様のご尽力により、「防災授業」を実施し、身体に障害をもつ方々を想定した車椅子操作法や仮設ベッドの設置方法等を学ぶなどしています。
- 「【質問4】企業等と連携した学び」については、第1学年は6月に講師を招いて「生き方学習」を実施しました。ここでは生徒たちにとって身近なコンビニを例に取り上げ、社会の動きや仕事の内容について学習しました。生徒は「自分と社会のつながり」や「自分自身の適性や興味・関心」について考えることができました。また、第2学年では7月に「職場体験学習」を3日間実施しました。また、その事前学習として東京工業大学大学院の教授を講師に迎え、働くことの意義や社会ではどのような人が必要とされているか、さらにそのためには中学校でどのような力をつけておく必要があるのかについて学ぶ機会をもっています。
- 「【質問7】多様な場や道具の選択」については、生徒が学習する上でその環境を整えることは大切であり、学習にふさわしい場を設定したりそのような雰囲気を作ることはとても意味があることだと考えています。今年度は全学級に最新の電子黒板が設置され、授業を実施する上で利便性が大きく向上し、生徒にとって協働的な学びが促進されるなど教育効果が大いに高まりました。小学校とは異なり、中学校という資源が限られている環境の中で、今後も最大限の工夫と努力を重ねてまいります。
- 「【質問12】きめ細やかな支援」については、普段の学校生活における教員による見守りに加え、ふれあい月間アンケートや教員とのおしゃべりウィーク、WEBQUUテストなどを実施して生徒理解を深め、様々な問題の未然防止・早期発見に努めています。スクールカウンセラーについては、今年度は1名増員して計2名体制となっています。また、生徒支援のための教員や大学生・大学院生を配置し、個別に支援できる体制を整えています。さらに情報等については校内で共有し、スクールカウンセラーや巡回心理士、関係機関とも連携を図りながら組織的に対応しています。
- 「【質問13】特別支援学校・学級との交流」については、巡回の特別支援教室教員や関係機関と連携し、会議や校内研修会等において理解を深めるよう努めています。ボランティア部では杉並第十小学校を会場に「ふれあい運動会」に参加し、障害をもつ子どもたちと交流を深めました。保護者の皆様にも、こうしたことやその成果が感じられるよう工夫してまいります。

(3) 学校運営協議会委員対象

- ほとんどの質問項目で肯定率が80%を上回り、高い評価をいただきました。この評価を維持し、さらに向上できるよう、今後も教職員一丸となって子どもたちのために教育活動を展開してまいります。
- 「【質問2】違いを認め合い苦手を補い合う」については肯定率が77.8%で、区の平均を下回りました。各学級では委員会や係活動、学年単位では学校行事等において実行委員会を組織するなどし、子どもたちが活躍する場を保証しております。このような活動を通して子どもたちの自尊感情が高まるよう支援するとともに、自分の責任を果たそうとする意識を高めるよう指導しております。また、学活や道徳をはじめ様々な教育活動の中で、子どもたちはお互いに協力することの大切さや相手を認め合うことの重要性について学んでいるところです。今後も子どもたちがお互いを認め合い補い合える関係を高められるよう、一層の努力を重ねてまいります。
- 「【質問6】多様な場や道具の選択」については肯定率が55.6%でした。保護者の欄（【質問7】に対する分析）で述べたとおり、これからも最大限の工夫と努力を重ねてまいります。

3年生への受験応援メッセージ

生徒会役員が、全校生徒が3年生の受験合格を祈願するために、絵馬に応援メッセージを書くことを企画しました。生徒会役員は、長い時間をかけて絵馬の配布や回収、レイアウト作成、貼り付けなどを頑張ってくれました。この絵馬のメッセージは、3階の3年生フロアの前の廊下に掲示しています。去年と同様下地が木目調になっているので、実際の絵馬に近づけたものになっています。今受験直前で勉強に励んでいる3年生のみなさん、西宮中学校の生徒一人ひとりからのメッセージを見て、受験勉強ラストスパート頑張ってほしいと思います。先生、生徒一同、西宮中学校からみなさんの頑張りを応援しています。（生徒会担当）



書初めの結果

半紙に書くのに対して、書初めは大きな清書用紙に文字をダイナミックに入れることができます。今年度も西宮中学校の生徒の中から力作が選出され、区役所にて1月17日～24日の日程で、「杉並区書初め展」に出品しました。さらに、3年生の作品を「東京都中学校 書初め紙上展」に学校代表として出品しています。職員室の並び学校図書館入り口前には、学校代表になった1・2年生の作品を展示しています。ぜひ、ご覧ください。(国語科)

« 杉並区書初め展出演者 »

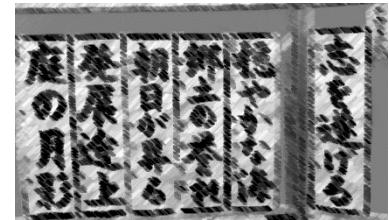
3C 男子 「志を遂げる」 3C 女子 「穏やかな海」

2A 女子 「郷土の讃れ」 2B 女子 「朝日が昇る」

1A 女子 「発展途上」 1C 男子 「庭の月影」

« 書初め紙上展出品者 »

3B 女子 3C 男子 3C 女子



特別支援教育

特別支援教育は、一人ひとりの教育的ニーズを把握し自分のもっている力を十分に發揮できるよう支援や指導を行うものです。

この教室では、困り感をもつ生徒の立場に立って、個々の成長や発達を丁寧に見取りながら学習を積み重ねます。

特別支援教室「学びの教室」の募集は、随時実施しています。来年度の募集が始まっています。

詳細をお知りになりたいご家庭は担任までご相談ください。

「学びの教室」入室を希望する場合は、心理検査を受ける必要があります。心理検査は、かかりつけ医療機関（有料）または済美教育センター（無料）で受けることができます。済美教育センターでの検査申し込みは、混み合いますので早めにお申し込みください。まずは、学級担任、特別支援教育コーディネーターなどにご相談ください。申請に必要な用紙は担任経由でお渡しします。（特別支援教育コーディネーター担当）

部活動の大会結果報

＜吹奏楽部＞ 第58回東京都中学生アンサンブルコンテスト

管楽八重奏 金賞 応援いただきありがとうございました。

＜バレーボール部＞ 杉並区1年生交流会準優勝 よく頑張りました。

学校生活でこのようなことはありませんか

気持ちの切り替えが難しい

- 机の空気を読み、状況を判断して動くことが苦手である。
- 好きなことに集中すぎて、それ以外があらそいになる。
- 急な予定の変更などでパニックを起こすことがある。



- コミュニケーションがうまく図れない
- 思ったことをそのまま口にしてしまったり、自分をうまく表現できなかっただしくて、友だちの関係がぎこちなくなる。
- 興味や関心があることを一方的に説くことがある。
- 他の気持ちを察することが苦手で、相手の反応を気にしない。



運動や体の動きを器用にできない

- 体育が全般的に苦手で、やる気がないことが多い。
- ダンジボルやなんわらなどの集団遊びの輪の中に入れない。
- 座りや道具の使い方が苦手でできない。
- 手を使った細かい作業が苦手である。
- ルールの理解が難しい。



- 運動的に動いてしまう
- 周囲の刺激に反応して、すぐに動いてしまう。
- 音楽を聴いてすぐに動き込んでしまう。
- 手を出したときに大きな声で騒がしたりしてしまう。



不注意で気が散りやすい

- 整理整頓が苦手で、忘れ物が多い。
- 荷物や台所などに集中できず、うっかりミスが多い。
- 音や光、皮膚感覺などで過敏に反応して集中できない。



勉強得意不得意があり、力を発揮しにくい

- 授業には参加できても、音読、説解、聞き取り、作文、書画、計算、推論するなどの特技の分野が強さに苦手である。
- ノートをとることが難しく、授業に集中できない、課題を提出できないことがある。



《2月の主な行事予定》

○ 5日（水）移動教室（2年）始
杉教研一斉研究会

○ 7日（金）移動教室（2年）終
校外学習（1年）

○10日（月）区生徒意識実態調査③（3年）

○11日（火）建国記念の日

○12日（水）小中一貫教育研修会（発表会）

○13日（木）朝学習（1年）国（2年）英（3年）数 終

○14日（金）理科出前授業（1年）
朝学習（1年）数（2年）国（3年）英 始
区生徒意識実態調査③（2年）

○15日（土）新入生保護者説明会

○17日（月）区生徒意識実態調査③（1年）

アフタースクールスタディ始

○20日（木）避難訓練

○21日（金）朝学習（1年）数（2年）国（3年）英 終
都立一次前期検査

○22日（土）アフタースクールスタディ終

○23日（日）天皇誕生日

○24日（月）天皇誕生日 振替休日

○25日（火）第4回定期考査 始

○27日（木）第4回定期考査 終 専門委員会

○28日（金）展示会準備

行事予定に変更がある場合は、tetoru、または書面等で、速やかにご連絡いたします。